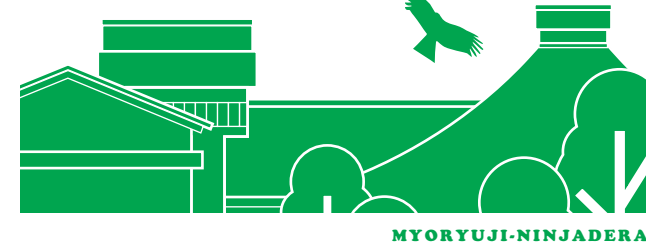
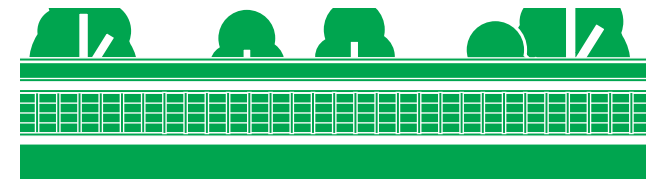
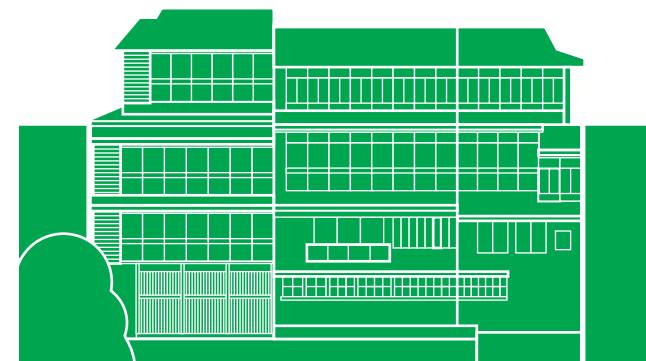


カナザワケンチクサンポ vol.4

ハマグリザカ・テラマチ・キューツルギミチ
 キュウノダミチ・キヨカワマチ・サイガワ
 金沢建築散歩 蛤坂・寺町・旧鶴来道・旧野田道・清川町・犀川



A 山錦楼
Sankinrou

圧倒的な存在感
 山錦楼は、野町で仕出業を営んでいた初代仁吉氏が、大正11年(1922年)に現在地へ移転してきたのが始まりです。正面から見ると3階建て、裏から見ると地階を含め4層にも重なり、坂のカーブに合わせて折れ曲がる姿は、犀川周辺では圧倒的な存在感です。

サンキンロウ

山錦楼
SANKINROU
迫力満点木造3階建て



B 4層の構成
Four tiered

挑戦のゆえに
 1階は主に客の待合と帳場、調理場、地階には客用便所と使用人部屋。2階には犀川を見渡せる39.5帖の大広間、3階は21帖の大広間と宿泊に使用されている部屋が3つ並びます。金沢では大正末〜昭和初期にかけて営業スペースの拡大を目的に、本建築をしのぐ2階建ての料亭、旅館が多く新築されました。それに刺激され、3階建てに挑戦したわけです。



C 増築
Extension

継ぎ足して、継ぎ足して

大正11年の移築後、大正14年(1925年)に現在の左側にあたる3軒分を客座敷向けに改築し、昭和1年(1926年)に3階部分建てを増し、継ぎ足すようにつくられました。正面玄関の右側1-2階が最も古い部分です。継ぎ足し建築であるものの、外観は建て増しされた部分も違和感なく連続しており、町家建築からの発展形を基調とした意匠でまとまっています。しかし内部では構造的にアクロパティックな部分も。



D 色彩
Color

おもてなしの場の鮮やかさ

兼六園に隣接する成興園が公開された際、天井に使用されているあまりも鮮やかな群青色は、人々に大きなインパクトを与えました。明治に入ると群青色の壁は一般にも広がり始めます。本建築も影響を受け、2階の大広間は格天井で色壁はグリーンに、3階の大広間は半縁天井で壁色はコバルトブルーとなっています。高価な群青色の顔料を使用した部屋は、最高のおもてなしの場でした。

ミョウリュウジ

PICK UP KENCHIKU 02
 妙立寺(忍者寺)
MYORYUJI (NINJADERA)
複雑な構成を持つ別名忍者寺



A 妙立寺の歴史
History

祈願所から始まった
 前田利家公が金沢城内に設立した祈願所を、三代目前田利常公が金沢城近くに移築建立したのが1643年。幕府の加賀征伐に備えて出城の役割をもたせた寺院群を寺町台につくり、妙立寺はそれらの監視所として1659年に現在地に移



B 複雑な構成
Complicated construction

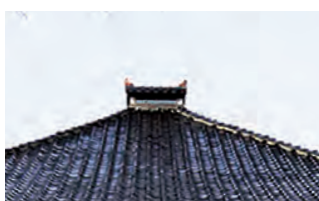
「段」による複雑な構成

29の階段は、堂内の動線を複雑化させています。床板を外すと落とし穴となる階段、引き戸を錠のように利用した床下階段、押し入れ内の壁裏隠し階段等、目を見張るものばかりです。階段部分に障子がはられている階段は、外部から覗き寄る外敵の足影を見て、内部から槍で刺し倒すためのものでした。



D 四階七層二十三部屋二十九階段
4 floors 7 tiered 23 rooms 29 stairs

複雑な建築構造
 「正久山 妙立寺 人呼んで 忍者寺」。その由来はその複雑な建築構造にあります。創建当時、幕府によって三階建て以上の建築は禁止されていました。しかし本建築は2階建ての外観でありながら、内部は四階建てで七層にも分かれ、23の



C 加賀望楼
Kaga bourou

見張り台の役割

本堂の屋根のアクセントである屋根先端部のガラス張りの望楼。見張り台の役割を持ち、金沢城へ光による通信も可能だったそう。望楼へは、庫裏の三階にある茶室「霞の間」から長い階段通路を経てゆきます。本堂と庫裏が一体となった、前衛的な数寄屋建築として評価されています。



B 客室
Rooms

歴史と記憶が散らばる客室

成興園から譲り受けた窓枠、前田家のお姫様から頂いた帯を貼った地袋、若き歌人や画家が出世払いの御礼として描いた書や絵、伊藤博文が泊まった際に残した「風光第一楼」の書。客室内は歴史や思い出の重なりにより彩られています。

ツバジン

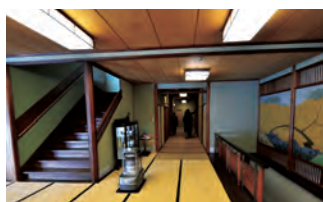
つば甚
TSUBAJIN
PICK UP KENCHIKU 03
1752年創業、金沢の迎賓館としての役割も担った老舗料亭



A つば甚の成り立ち
History

銅師から料理屋へ

つば甚は1752年の創業から250年以上にわたり、金沢の迎賓館としての役割も担ってきた老舗料亭です。代々加賀藩のお抱え銅師であった銅屋三代目甚兵衛が趣向に満ちた料理で友人知人を



D 玄関
Entrance

時代の影響を受けて

戦後GHQの泊まり宿となったつば甚。玄関を全て壊し、畳を取り除き、土足のダンスホールとした過去もありました。その名残として、地下へと続く階段はカーペット敷きとなっています。また路面電車を通す関係で玄関の前庭は少し狭まりましたが、立派な木は昔のまま。



C 大広間
Great hall

昔とかわらない姿

戦時中、軍事工場の作業場としても使われた200畳もの大広間。長手方向に35メートルもの長さを持ちます。広縁の天井は網代張りの矢羽権太夫となっており、これを作る職人、材料不足から、大変貴重なものとなっています。

ミンワデンセツ

民話伝説
FOLK TALES

寺町には金沢市に伝わる有名な民話伝説の舞台となった場所がいくつもあります。

コワイ?

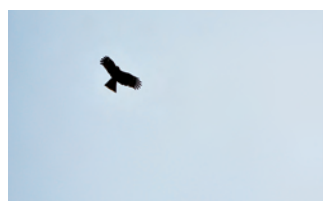
コワクナイ?



A いもほり藤五郎
Imohori Togoro

金沢地名の由来

加賀の山あいで芋を掘って暮らす藤五郎という男がいました。貧乏だが心根の優しい働き者の男でした。そんなある日藤五郎の家に、大和国から嫁入り行列がやってきます。驚く藤五郎に長者の男は「観音様のお告げで娘を嫁入りさせにきた」と言います。貧乏だからと断るものの、観音様のお告げには逆らえず、娘は金銀もって藤五郎に嫁入り。しかし藤五郎、それらに関心を示すどころか、晩飯用の雁を掴めようと、金銀入った小袋をふん投げてしまいます。全財産は雁の脚に引っか



B 天狗さんの寺
Temple of Tengū

永久に火事から守る

ある日妙慶寺の住職が近江町市場を歩いていると、子ども達が魚を盗んだ一羽のトンビを殺そうとしていました。住職はそれを止め、妙慶寺へトンビを連れて帰り境内で空に放ってやりました。その夜住職が寝ていると枕元に天狗が現れ、トンビの正体が自分であることを伝え、助けてもらったお礼をしたいと思います。住職が何も望んでいないと伝えると、天狗は八角の板を取り出し、片面ずつ「大」と「小」の文字を刻みました。これがこの寺を永久に火事から守るだろうと言いつつ、天狗はふっと姿を消しました。その後お寺は何度も周囲の火災から焼け残り、現存しているお寺は、子育て幽霊として日本各地に伝わっており、金沢市だけでも立像寺を含め5箇所に伝わっています。

金沢市だけでも五カ所に伝わる

毎晩輪を買いにくる若い女が、ある夜に「輪を買いにくるのも今夜が最後です」と悲しそうに願っているのを、店を出て行きました。不思議に思った店主が、そと後をつけていくと、女はお寺の墓地に入ってゆき、埋葬されたばかりの墓場の前でふっと消えました。怖くなり翌日に住職に相談したところ、墓場から赤ん坊の泣き声が。そとと掘り起こすと輪を買いに来たはずの女性の亡骸にしっかりと抱かれた元気な男の赤ん坊が輪をしゃぶっていました。その後この赤ん坊がお寺で育てられ、立派なお坊さんとなります。幽霊胎児の話は、子育て幽霊として日本各地に伝わっており、金沢市だけでも立像寺を含め5箇所に伝わっています。

テラマチのレキンをマナブ

名前の通り70のお寺が集まる金沢最大の寺町です。加賀藩の金沢城下町の形成過程において仰宸山麓、小立野台、寺町台にそれぞれ寺院群が築かれました。寺院群形成の理由としては多くの武士を配置できる城下の防御拠点としての軍事的機能、金沢城から見た鬼門除け、城下町並みにおける空間利用区分等の諸説あり、1615年-1643年頃の集中的な寺院配置により基礎がつけられ、寺院群全体としては長い期間の中でゆっくりとつくられていきました。



国選定重要伝統的建造物群保存地区

デン・ケン・チク

デン・ケン・チク(伝建地区)ー重要伝統的建造物群保存地区とは？
 城下町や宿場町、門前町などの歴史的なまちなみを守るため、地区を定め、地区毎に策定された保存計画に従って、まちなみの保存を図る制度。寺町台では旧野田道、旧鶴来道を主軸とし、通り沿いの寺社地、地子地、寺社門前地を基本とした22ヘクタールの範囲を伝建地区として定めています。金沢市では寺町台のほか、東山ひがし、主計町・仰宸山麓地区が選定されています。ひとつの市町村で4つの伝建地区を有するのは極めて異例なのです。



A 旧鶴来道
Former Tsurugi-michi

門前地の有無が生んだ二つの町並み

大きく二つの道で構成されている寺町。ひとつは蛤坂〜広見にかけての旧鶴来道、もう一つは現在幹線道路にもなっている旧野田道。この二つの道の景観には大きな違いが一つ。門前地をほとんど設けなかったため、土塀旧鶴来道では、江戸時代に門前地としての寺



B 旧野田道
Former Noda-michi

表通りに面する敷地を貸し出したため、町屋が建ち並び、その間から寺の入り口である山門が顔をのぞかせている旧野田道。旧野田道は門前地をほとんど設けなかったため、土塀と山門が強く景観となったわけです。



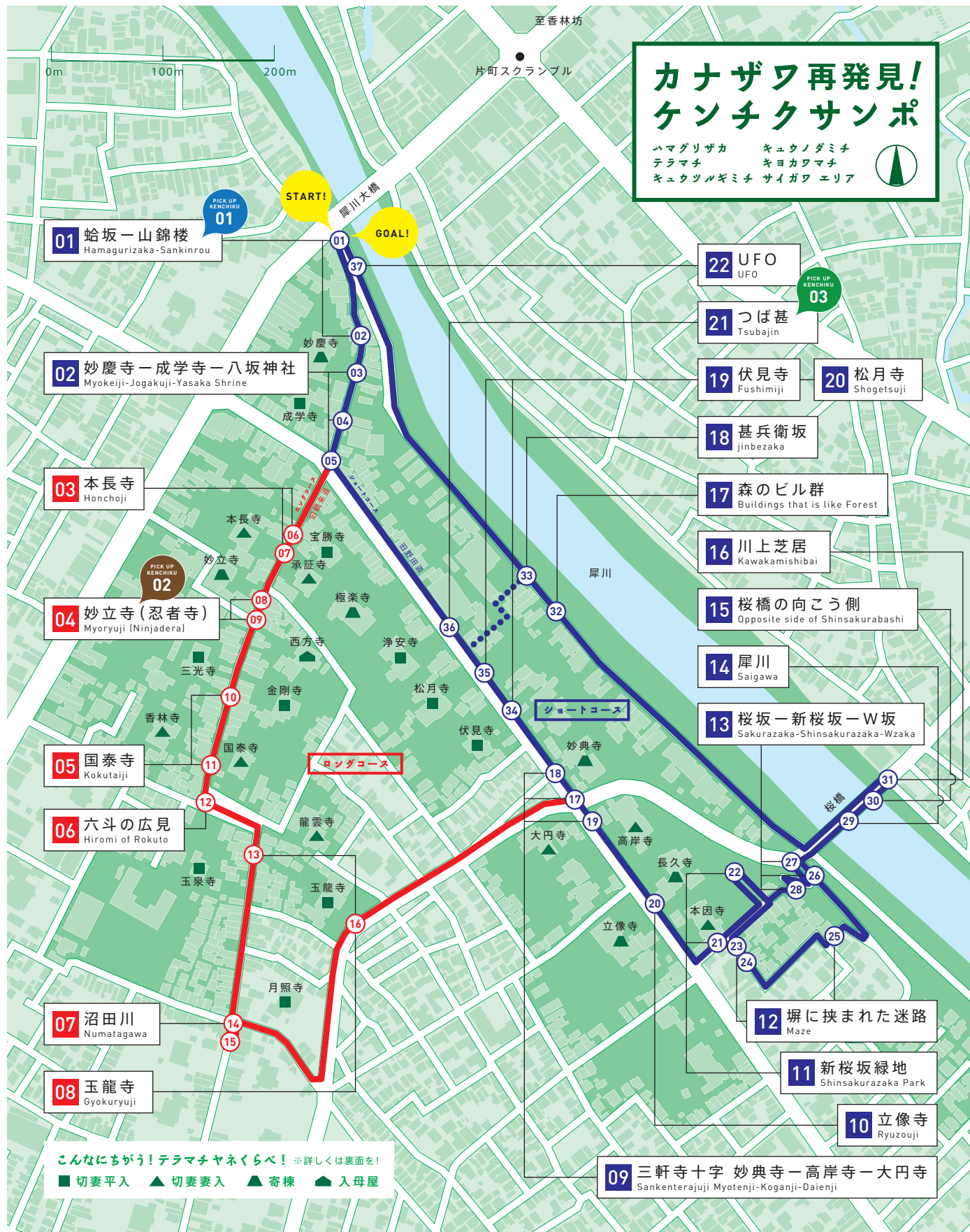
C 屋根
Roof

屋根で見る、お寺さん。(写真左から切妻平入、切妻妻入、寄棟)

お寺といえば入母屋造の平入りが一一般的ですが、金沢では切妻造の平入りが大半を占めています。しかし寺町では切妻造の妻入りのものや、寄棟造のものも多々見られるのが特徴的なのです。マップ内も参照!

あれ!?
ヤネがこんなにちがう!

●切妻平入:成学寺 伏見寺 玉泉寺 玉龍寺 松月寺 三光寺 金剛寺 月照寺 浄安寺 宝勝寺 ●切妻妻入:本長寺 国泰寺 大円寺 高岸寺 承証寺 龍雲寺 香林寺 本因寺 ●寄棟:妙立寺 妙典寺 立像寺 妙慶寺 極楽寺 長久寺 ●入母屋:西方寺



さあ、テラマチを あるいてみよう!

KANAZAWA KENCHIKU SANPO ORIGINAL COURSES

重要伝統的建造物群保存地区に選定された寺町台を舞台に、幾重もの歴史を乗り越えてきた名建築の数々。そして豊かな台地と緑地に恵まれた街道も坂道も、時に応じて様々な表情を見せてくれます。

金沢工業大学
宮下研究室の
学生が取材!

サンゴクカンノメヤス 01 37 ショートコース 徒歩約60分 01 37 ロングコース 徒歩約90分



01 蛤坂一山錦楼 Hamagurizaka-Sankinrou

PICK UP KENCHIKU 01

木造三階建て料亭の迫力に圧倒

①大火の後、バックリ道が開いた様が、蛤の身が開いたように見えたためついた名称ハマグリ坂。②グリーンと折れ曲がって、ででんと建つ木造三階建て料亭の迫力に圧倒。



02 妙慶寺一成学寺一八坂神社 Myokeiji-Jogakuji-Yasaka Shrine

小さな風神雷神が塀の上からお出迎え

③大火から何度も隠れている妙慶寺の秘密は天狗さんが守ってくれているから。④成学寺入口では「ヨッ! 元気?」と言わんばかりの小さな風神雷神が塀の上からお出迎え。⑤お隣さんとの境界いっばいいっばいまで肩を広げる鳥居。奥には神様鎮座中。



03 本長寺 Honchoji

雨の夜はヒキガエルに注意

⑥犬猫(こまいぬ)? いいえ、このお寺を悪いものから守っているのはカエルなんです。「こまがえる」の隣に「雨の夜はヒキガエルに注意」の看板あり。雨の夜ここを訪ればその謎が解けるかも。⑦樹齢200年、高さ9mの大楓が境内で四季を存分に味わわせてくれます。

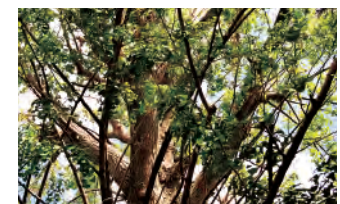


04 妙立寺(忍者寺) Myoryuji (Ninjadera)

PICK UP KENCHIKU 02

こんなところに落とし穴! こんなところに階段! ?

⑧まるで忍者気分。そもそも寺町寺院群は金沢路地を進むと、正面の入口とは違った忍者寺の裏口が。⑨通っていいのかしらと思いつつ細い路地を進むと、正面の入口とは違った忍者寺の裏口が。



05 国泰寺 Kokutaiji

ひと際目立つイチョウの木あり

⑩飛び出す前に立ち止まって左右安全確認。道路にしっかり足跡2つ残したら、安全の印、どまれ文字の完成。⑪立派な木々が並ぶお寺の境内にはひと際目立つイチョウの木あり。秋には鮮やかな黄色に染まり、気分も秋色イエロー。



06 六斗の広見 Hiromi of Rokuto

金沢で一番広い広見

⑫延焼を防ぐため藩政時代のまちづくりの工夫として金沢のあちこちにつくられたのが広見。中でも金沢で一番広い広見といえはここ。立派な松の木も小さく感じる巨大広見を体感すべし。



07 沼田川 Numatagawa

ナイ詐な香りに誘われて

⑬大正から続く酢造はこの町の懐かしの香りを生んでいます。⑭「何だこの満」なんて思ったのはどなたですか。現在は1km先の泉水水までの雨水排水路として働いていますが、わたくし、この地にあった沼地を水源とした元自然河川なんです。



08 玉龍寺 Gyokuryuji

ながーい堀

⑮山門奥をのぞきますと、子供達に囲まれて幸せそうに頬を染めるソメイヨシノの姿がちらり。⑯寺院の雰囲気に合わせて。長く緩やかに堀が続く風景は必見。



09 三軒寺十字 妙典寺一高岸寺一大円寺 Sankenterajuji Myotenji-Kouganji-Daienji

交差点の4つ角のうち3つがお寺というなんとも寺町らしい光景が広がる十字路口

⑰毎週土曜夕方、鐘の音を届けてくれる妙典寺。知らせるよう造られた鐘は、未だに鳴らされたことのない「つかずの鐘」。⑱大きな門をくぐり中に入ると高さ4メートルもの大きなお蔵さん。人骨を砕き塗りこめられたもので「延命地藏尊」というもののようです。思わず見入っちゃう。必見。



10 立像寺 Ryuzouji

鮎買い幽霊の伝説あり

⑲毎朝気持のいい鐘の音ではじまるこのお寺には、少しヒンヤリ、母親の愛にホロリの「鮎買い幽霊」の伝説あり。右も左も見渡せば一面お寺ばかり。思わずカメラでパチリ。



11 新桜坂緑地 Shinsakurazaka Park

小さいけど贅沢な緑地

⑳片面木の堀で覆われた小道は雨の日には更に雰囲気よし。堀の先にはお墓が。ところどころ穴があいて見え隠れ。㉑狭い小道を抜けた先に広がる金沢の城下町。春には桜も楽しんで、小さいけど贅沢な緑地。景色を眺めつつ座って休憩できる。寺町には珍しい隠れ休憩スポット!



12 堀に挟まれた迷路 Maze

ガラスのショールーム

㉒民家を縫うような曲がり道。両側を堀に挟まれちよっと迷路みたい? ㉓こちら側もこちら側もガラス窓でスケルトン! まるで庭の緑を家で切り取ったような不思議な空き家。㉔大きく視界が抜け下に続く階段。あまりの開放感に足を踏み外さないように気をつけて。映画の主人公になった気分が階段を降りてみましょう。



13 桜坂一新桜坂-W坂 Sakurazaka-Shinsakurazaka-Wzaka

あなたはどの道を選んで寺町台へ?

㉕犀川に沿って緩やかにのびる坂。対岸の建物やキラキラ光る犀川の絶景に見とれちゃう。㉖桜橋を渡って寺町台へとつながる車道のひとつ。車通りが多いが歩道もあるので歩くのも安心。㉗別名W坂と呼ばれるこの坂はその名の通りジグザグに折れ曲がる階段があり、ほぼ一直線に崖を登ります。ここは近道なのか? はたまた...?



14 犀川 Saigawa

寺町台を遠くから眺める

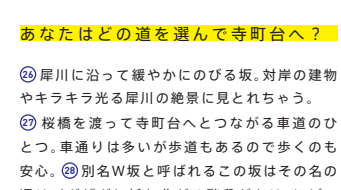
㉘東の浅野川は柔らかく流れることから「女川」、それに対しこちらの犀川は豪快な流れから「男川」と呼ばれております。金沢の文豪の作品にもたびたび登場。さて寺町方面に向き直し眺めると、寺町台が多木の木々に覆われるまで森のよう。



15 桜橋の向こう側 Opposite side of Sakurabashi

橋を一歩渡ると雰囲気ガラリ

㉙橋を一歩渡ると雰囲気ガラリ。新整町の流れを頼んで個性溢れるお店が増えつつあるエリア。こだわりの一品採しは新整町にキマリ!



16 川上芝居 Kawakamishibai

金沢の芝居小屋、川上芝居

㉚桜橋から犀川上流に見える下菊橋横には、1820年頃、500人をも収容できた歌舞伎芝居小屋「川上芝居」を中心とした金沢一の繁華街がありました。しかし1838年に芝居が禁止され、今では静かな住宅街へと姿を変えています。



17 森のビル群 Building that is like Forest

自然と建築とのコントラスト

㉛犀川を挟んだ先に見えるのは片町のビルの森。よきよき生えるビルと対照的に、犀川沿いは緑溢れるゆったりゾーン。このコントラストが金沢の魅力。



19 伏見寺 Fushimiji

芋掘藤五郎建立のお寺

㉜金沢の地名発祥にまつわる芋掘藤五郎が建立したお寺。金の沢のヒントを探ってウロチョロ。



18 甚兵衛坂 Jinbezaka

名隠れ坂

㉝人の家の裏に位置する「甚兵衛坂」、見つけるのも一苦労。金沢人にも知られておらず、まさに名隠れ坂。



20 松月寺 Shogetsuji

松月寺の御殿桜

㉞歩いていると「頭上注意」の看板、目の前には堀にくいこみ腰をまげる大きな桜。小松城の中から移植されたもので、江戸時代には藩主の行列も、桜に敬意をあらわし槍を伏せて通ったというほどのお偉いさん。国の天然記念物。



21 つば基 Tsubajin

金沢の迎賓館つば基

㉟松の木がどっしりと構えているのは、250年く側には初代甚兵衛さんの名前が付いた甚兵衛もの歴史を語る金沢の迎賓館日本料理つば基。坂もあり。



22 UFO UFO

頭上のUFOに注意!

㊱上を見上げると...UFO! ? 実はこれ、犀川の水量が増水し、危険となった際に警告のサイレンをならしてくれるもの。水の侵路を知らせてくれるいい宇宙人が中から働いています。

MACHI & KENCHIKU PICK UP!